



株式会社 **エピコ**

証券コード：7947

第54期 中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日



詳しくは本誌5～6ページをCHECK!!

平素は格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第54期上半期の営業の
概況につきましてご報告申し上げます。



代表取締役会長 (CEO)

小松安弘

代表取締役社長 (COO)

佐藤守正

■ 営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景とした企業収益の改善や設備投資の増加、雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな景気回復基調が継続いたしました。

一方で、8月の世界同時株安、円安による輸入原材料価格の上昇や個人消費が盛り上がり欠けるなど、経済環境は依然として予断を許さない状況で推移しております。

このような状況下、当社グループの販売面では、当社オリジナル製品（マルチFP容器、マルチソリッド容器、OPET透明容器、新透明PP容器）を中心とした新デザイン容器や新機能容器は、容器としての機能や働きはもとより、耐油性や耐熱性等の素材機能の優位性もお客様に評価していただき、

リサイクル原料容器（エコトレイ、エコAPET容器）ともども販売数量を伸ばしております。特にPPSAシリーズ（新透明PP容器）は、電子レンジ加熱による今までにない商品開発が可能となり、小売店での新しい売り場づくりの提案とともに採用が広がっております。透明蓋やフードパック等の透明容器においては、OPET透明容器や新透明PP容器の品揃えを充実し、従来品であるOPS透明容器からの切り替えを進めております。また、消費者の質を重視する動きが広がり、折箱の風合いを持ち差別化を図るのに適した弁当容器や売り場で食材の見栄えがする惣菜容器なども販売数量を伸ばしております。

さらに、汎用製品につきましても販売数量を大きく伸ばしており、当社グループにおいて生産す

る製品の当第2四半期連結累計期間の売上数量は前年同期比106.6%、売上高は前年同期比104.4%となりました。

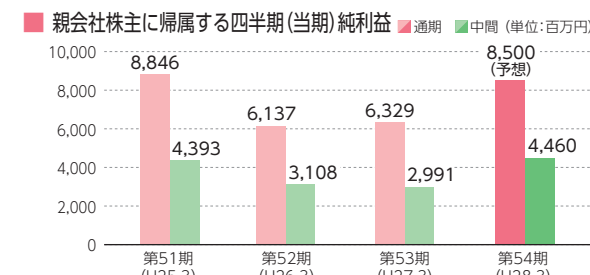
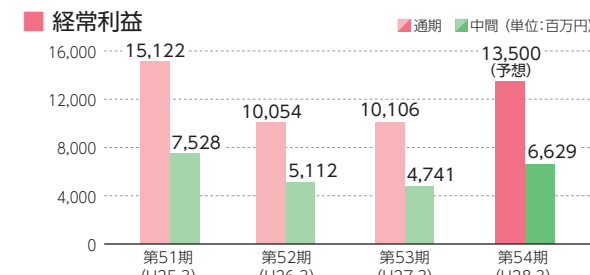
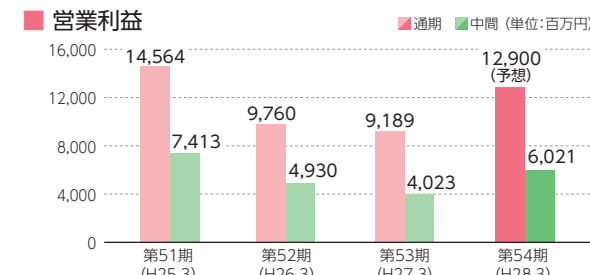
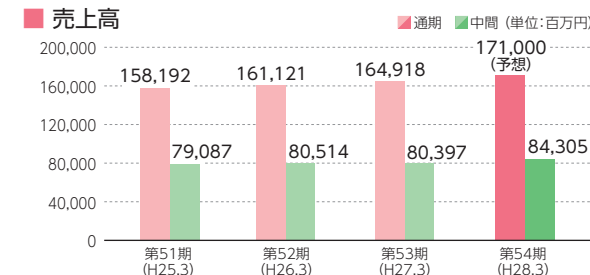
売上が集中するお盆前の時期には、配送車両台数が前年同期比120%となりましたが、前連結会計年度に運用を開始した福山クロスドックセンター・八王子配送センターなど、過去5年間に増強した物流ネットワークをフル活用したことにより配送業務を滞りなく行うことができました。

また、当社グループ外より仕入販売する商品の当第2四半期連結累計期間の売上高は、平成26年10月から「エフピコみやこひも株式会社」をグループに迎えるなど、商品調達力の強化と取扱量の増加に努め、前年同期比106.3%となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は843億5百万円、前年同期に比べ39億7百万円の増収（前年同期比104.9%）となり過去最高となりました。

利益面におきましては、新たな拠点や設備の稼働開始、物流費の上昇などによるコストの増加が約10億60百万円あったものの、原材料価格の下落効果のほか、当社オリジナル製品や新製品の販売が好調に推移したこと、グループ全体でコスト改善に努めたことにより、利益改善は総額で約29億50百万円となり、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期に比べ18億88百万円の増益となる66億29百万円（前年同期比139.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高の44億60百万円（前年同期比149.1%）、償却前経常利益では112億63百万円（前年同期比114.0%）となりました。

業績ハイライト



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としてあり、前連結会計年度までの「四半期(当期)純利益」についても科目名を統一しております。

株主の皆様へ

なお、当社グループの販売品目別の売上高概況は次のとおりであります。

分類	主要品目	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
製品	トレー容器	14,579	17.3	105.0
	弁当・惣菜容器	44,766	53.1	105.1
	その他製品	3,021	3.6	92.4
	小計	62,367	74.0	104.4
商品	包装資材	17,811	21.1	110.8
	その他商品	4,126	4.9	90.6
	小計	21,937	26.0	106.3
合計		84,305	100.0	104.9

営業面では、付加価値の高い新製品の開発と品揃えのスピードを加速し、当社オリジナル製品の販売構成を高めることにより、製品売上高の増加と利益率の向上を図っております。加えて、CO₂削減による環境への取組みや人件費の高騰に対応した業務合理化提案とともに、リサイクル原料製品や汎用製品の拡販にも努めております。また、平成27年9月から、日本最大の料理レシピサイトの「クックパッド」とタイアップし、当社オリジナル製品「レンジパック蒸せるんです」の特設ページを公開しております。この特設ページへのクチコミ投稿により一般消費者の認知度を高め、レシピ投稿数を増やすことでレンジメニュー市場の拡大を目指してまいります。

物流面では、前連結会計年度に福山クロスドックセンター・八王子配送センターからの出荷を開始しており、このうち八王子配送センターについては、今後の需要拡大に向け二期工事を進めておりましたが、平成27年9月に完成いたしました。これら物流設備投資により全国を網羅する強固で柔軟な物流ネットワークを構築することで、製品及び商品をお客様にお届けするまでの流通全体のコスト抑制と安定供給を提供してまいります。また、

平成27年5月には当社グループ独自の配送システムを含むIT活用が評価され、経済産業省と東京証券取引所が共同で創設した「攻めのIT経営銘柄」に選定されました。

生産面では、中部PETリサイクル工場隣接地に新工場を建設しております。この新工場は、回収したPET透明容器やPETボトルからリサイクルPETフレックを生産し、これを原材料としたシートの押出を経てエコAPET容器を成型する一貫生産を行う他、OPETシート押出3号機、4号機及び製品成型機を設置しOPET透明容器の生産拠点としても機能するものであり、平成28年3月の稼働を目指しております。

この他、前連結会計年度にエフピコ総合研究所が完成し、新素材・新製品の研究や、製品開発のスピードアップと充実を図っております。この施設は、研修施設としての機能も併せ持ち、人材育成にも従来以上に注力してまいります。

社会的責任としての障がい者雇用の促進につきましては、平成27年9月末現在グループ全体で



371名（障がい者雇用数641名）及び業務提携先に44名の雇用の機会を提供しております。平成27年3月には、当社グループの取組みが評価され、経済産業省「平成26年度ダイバーシティ経営企業100選」に選出され、平成27年9月には、東洋経済新報社

が発表した「障がい者雇用率ランキング」において、当社が第1位にランクインしております。

今後の見通しにつきましては、消費者の動向、為替相場や原油価格の変動による原材料コストや電力料金の増減など、当社グループをとりまく経営環境には、予断を許さない状況が続くものと予想されます。



一方で、昨今の国内企業をとりまく環境は、雇用環境の改善を受け、人手不足による人件費高騰が深刻化しており、人材確保に苦慮する状況となっております。

このような状況下、当社グループは、関東地域の人材不足に対応し、広域から人材を確保するため、茨城県筑西市に150戸のワンルームタイプの社宅建設を予定しております。引き続き、人材確保の難しい中部エリアにも同様の施設建設を計画しております。生産部門において産業用ロボットの導入を推進し、物流部門においては音声ピッキングシステムを導入し、自動ソーターシステムを配置するなど、省人化を図るとともに作業生産性を向上させております。今後も、生産・物流コスト抑制に向けた施策を展開してまいります。さらに、当社オリジナル製品をはじめとした新製品の開発と品揃えのスピードのさらなる加速、全国を網羅する物流ネットワークを活用した流通全体でのコスト抑制の提供及びリサイクル原料製品の販売の拡大などにより、中長期的に安定して利益を獲得できる体制を強化してまいります。

また、新たな取組みでは、BCP（事業継続計画）の一環として、災害などにより停電が発生した際

にも重要な事業活動を継続するため、物流部門において、平成28年3月までに、自動ソーターシステムなどを有する主要施設の非常用発電設備を設置し、平成28年9月までに全国21カ所すべての拠点に同設備の設置を行い、72時間（3日間）の電力供給を確保いたします。お客様の事業活動の継続に寄与し、「必要な時に確実にお届けする」体制をより一層強固なものにいたします。



株主の皆様には、何卒、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（用語説明） 平成27年11月

マルチFP(MFP)容器	: -40℃～+110℃の耐寒・耐熱性、耐油・耐酸性及び断熱性に優れた発泡PS(ポリスチレン)容器
マルチソリッド(MSD)容器	: マルチFPの端材を活用し、その特性を維持しつつシャープな形状を実現した非発泡PS(ポリスチレン)容器 耐熱温度+110℃
OPET透明容器	: 二軸延伸PETシートから成型した、耐油・耐酸性に優れ、透明度も高くOPSと同等の耐熱性を実現したPET(ポリエチレンテレフタレート)透明容器 耐熱温度+80℃
新透明PP容器	: 標準グレードのPP(ポリプロピレン)原料からOPSと同程度の透明度を実現した透明PP容器 耐熱温度+110℃
PPSAシリーズ	: 嵌合フードパック 新透明PP容器 耐熱温度+110℃
OPS透明容器	: 従来からの二軸延伸PS(ポリスチレン)シートから成型した透明容器 耐熱温度+80℃
エコトレー	: スーパーで店頭回収されたPS容器と工場内端材を原料とするリサイクル発泡PS容器(平成4年販売開始)
エコAPET容器	: スーパーで店頭回収されたPET透明容器、PETボトル及び工場内端材を原料とするリサイクルPET透明容器(平成24年販売開始)
フードパック	: スーパーの揚げ物バイキングコーナーなどで使用される、蓋(フード)と本体が一体となった汎用透明容器
クロスドックセンター	: お客様にお届けする製品を、個別の配送トラックが在庫倉庫を廻って積込む方式にかわり、全ての出荷製品を一カ所に集め、配送ルート毎に自動ソーターで仕分けの後、配達順に積込むクロスドック方式を実現するセンター
クックパッド	: クックパッド株式会社の運営による料理レシピのコミュニティウェブサイト
レンジパック蒸せるんです	: 家庭で生の素材から電子レンジを使って簡単に蒸し料理が楽しめる簡易蒸し容器PPSAが個包装されたセット商品 耐熱温度+110℃

レンジパック 蒸せるんです

具材を入れて、レンジで加熱!!



スーパーマーケットやコンビニで使われている電子レンジ対応のレンジパックを、ご家庭でもお使いいただけるようにした新しいキッチンツールです。手間がかかる蒸し料理などを簡単に調理できます。



「レンジパック蒸せるんです」の特長・使い方

「レンジパック蒸せるんです」は耐熱性に優れた素材なので、電子レンジで110℃まで対応可能。野菜や肉、魚を生のまま容器に入れて、電子レンジで加熱するだけで簡単においしい料理が出来上がり。たとえば、蒸しはまぐりや蒸しえび、白菜と豚バラのミルフィーユなど本格的な料理も簡単に。油も不要でヘルシーに仕上がります。

Step ①



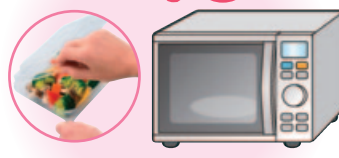
食材を用意します。

Step ②



誰でも簡単!『パチッ』と開けて、具材を入れて閉めます。

Step ③



レンジに入れて出来上がりです。

商品 ラインナップ

用途にあわせて、さまざまな形状・サイズをご用意しています。
(本体材質：ポリプロピレン)



商品名：PPSAV17-30 (40)
3パック入り



商品名：PPSAV19-13 (40)
3パック入り



商品名：PPSA丸120-300
3パック入り



商品名：PPSA丸130-380
3パック入り

ご家庭で、ぜひお試しください!

 **cookpad**
でレシピ紹介!

時短♪簡単♪レンジで絶品旬レシピ

レシピ検索

月間5,500万人以上が利用するクックパッド (<http://cookpad.com>) は、平成10年3月にサービスを開始した日本最大の料理レシピサービスです。投稿レシピ数は210万以上、20~40代女性の多くが料理レシピのウェブサイトを利用しています。



きのこ鮭のバタぼん蒸し
シンプルながら秋の味がつまったレシピ
を人気の「バタぼん味」で!



かぼちゃとチーズの蒸しパン
チーズが味のアクセント♪小腹がすいたら
らお子さんと一緒にクッキング♪

「ダイバーシティ経営企業100選」に選出

エフピコグループは経済産業省主催の「平成26年度ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれました。この制度は女性・外国人・高齢者・障がい者など多様な人材を活かして、新しい価値を創出している企業を表彰するものです。



▲受賞企業のみが使用できるロゴマーク



▲表彰企業代表者の方々（前列左から4番目 小松会長）

当社は知的障がいのある子どもを持つ親の会「あひるの会」とのつながりから昭和61年に特例子会社ダックスを設立し、

平成19年には民間の営利法人で初となる就労継続支援A型の広島愛パック株式会社を設立。現在では子会社が運営する全国19カ所の事業所をはじめ、グループ全体で約370名の障がいのある従業員が、容器製造やリサイクルの現場で活躍しており、その点が評価されました。今後も当社では障がい者雇用など、多様な人材の活用を進めてまいります。

新しい技術を発信する「エフピコ総合研究所」を開設

当社は平成26年12月、福山本社の向かいに地上4階・延床面積：約2,000坪の総合研究所を開設いたしました。1～3階には最新鋭の設備を導入し、新素材開発のための研究用押出機や二次成型機、さらには革新的な技術開発のための特殊な装置を設置しています。これらの設備



▲4F研修室



▲エフピコ総合研究所

を利用し、専門知識を持つ技術スタッフが新素材開発から加工技術開発、性能分析評価まで、総合的に研究開発を進めてまいります。

また4階には人材開発研修センターとして、約120名を収容する階段教室や80～110席を用意した3つの研修室・8つの討議室を設けています。

総合研究所は、新たな技術の創出や未来を担う人材育成をする施設として、エフピコの成長を支える一翼を担ってまいります。

四半期連結貸借対照表

(平成27年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部	
科目	金額
流動資産	74,685
固定資産	130,751
有形固定資産	122,143
無形固定資産	2,451
投資その他の資産	6,156
資産合計	205,436
負債の部	
流動負債	68,544
固定負債	48,392
負債合計	116,937
純資産の部	
株主資本	87,036
その他の包括利益累計額	1,069
非支配株主持分	393
純資産合計	88,499
負債純資産合計	205,436

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	84,305
売上原価	58,657
売上総利益	25,647
販売費及び一般管理費	19,626
営業利益	6,021
営業外収益	795
営業外費用	187
経常利益	6,629
特別損失	52
税金等調整前四半期純利益	6,577
法人税、住民税及び事業税	2,358
法人税等調整額	△238
四半期純利益	4,457
非支配株主に帰属する四半期純損失	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,460

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,189
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△910
現金及び現金同等物の期首残高	13,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,800

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」を「四半期純利益」に、「少数株主利益」を「非支配株主に帰属する四半期純利益」に、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としてあります。

■ 会社の概況

社名 株式会社エフピコ
 FP CORPORATION
 本社 〒721-8607
 広島県福山市曙町一丁目13番15号
 TEL 084-953-1145 (代表)
 東京本社 〒163-6036
 東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
 新宿オークタワー36F
 TEL 03-5320-0717 (代表)
 設立年月日 昭和37年7月24日
 資本金 13,150,625,630円
 企業集団の主要な事業内容及び
 ホームページ 当社グループは、簡易食品容器関連事業及び
 主要な事業内容及び商事関連事業を営んでおります。
 http://www.fpco.jp/

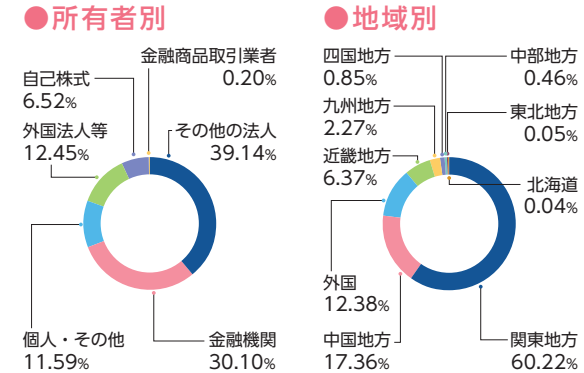
■ 取締役及び監査役

代表取締役会長	小松 安弘	取締役	岡 恒治
代表取締役社長	佐藤 守正	取締役	佐藤 修
専務取締役	高西 智樹	取締役	永尾 秀俊
専務取締役	江崎 義隆	取締役(社外)	末吉 竹二郎
常務取締役	池上 功	取締役(社外)	緑川 正博
常務取締役	上垣内 詳治	常勤監査役	瀧崎 俊男
常務取締役	安田 和之	常勤監査役(社外)	中居 敏郎
常務取締役	永井 信幸	常勤監査役(社外)	松本 修一

■ 株式の状況

発行可能株式総数 120,000,000株
 発行済株式の総数 44,284,212株
 株主数 3,504名

■ 株式分布状況



■ 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社小松安弘興産	14,339	34.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,462	5.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,831	4.42
積水化成成品工業株式会社	1,432	3.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託積水化成成品工業口)	900	2.17
株式会社西日本シティ銀行	880	2.13
エフピコ共栄会	807	1.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	762	1.84
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	719	1.74
第一生命保険株式会社	551	1.33

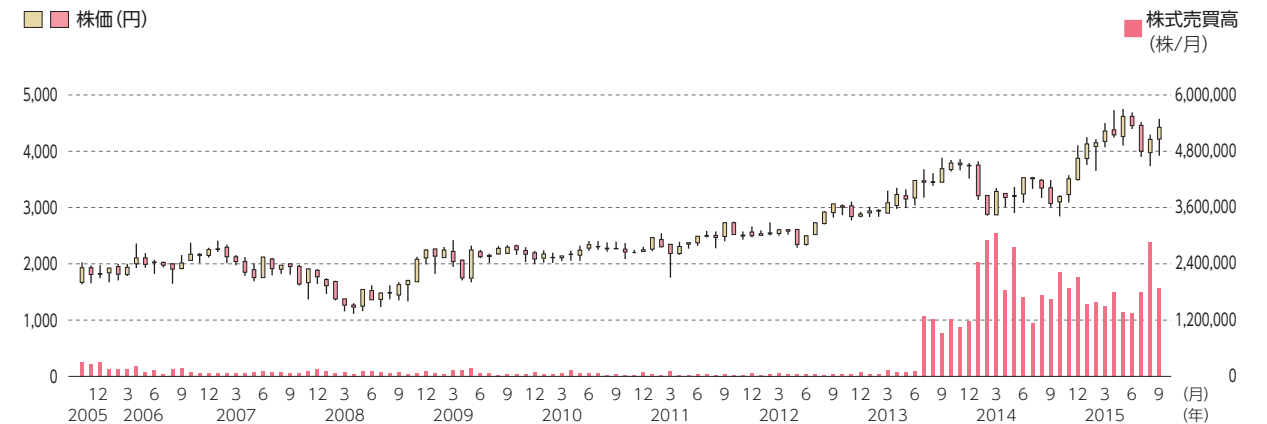
(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、自己株式(2,889,238株)を控除して計算しております。

低炭素杯2015

低炭素杯とは一般社団法人地球温暖化防止全国ネット主催による活動で、次世代に向けた低炭素社会の構築を目指して、全国の学校・非営利団体・企業・自治体などが地域性や団体の特性に応じ温暖化防止の取り組みを紹介し、そのノウハウや情報を共有し全国へ展開する場となっています。当社は『エフピコ方式のリサイクル』を紹介するための企業部門に応募し、審査の結果ファイナリスト39団体に選ばれました。



■ 株価の推移



※1 2013年6月までは大阪証券取引所、2013年7月以降は東京証券取引所における株価及び売買高を示しております。
 ※2 2014年4月1日付で1株を2株に分割する株式分割を行っており、当該株式分割調整後の数値を記載しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.fpco.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他やむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. ご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法の変更などについては、お取引のある証券会社にお問合せください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。